



やさしい子

副校長 渡辺 賢志

今年度の水泳指導が始まりました。久原小学校にとつての二年ぶりのプールです。三年生のプール開きを参観に行きましたが、久しぶりにプールを見た三年生の子供が「きれい」と言っていたことが印象的でした。初夏の日差しを浴びながら反射する水面は確かにとても美しく、さらに、私にとっては子供たちの水泳指導を見るのは六年振りだったこともあり、夏のプールという学校における風物詩も思える光景が見られることの嬉しさを感じていました。

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、国や都、区のガイドラインに則って久原小学校としての安全対策を取りながら水泳運動系の授業を行っています。学年ではなく、クラスごとにプールに入ったり、プールサイドで並ぶ際に互い違いに並んで距離を取ったり、シャワーを浴びる人数を少なくしたり、児童が密接する活動を避けたりしています。さらに、安全対策を確実なものにするために学校地域支援本部（スクールサポート）がはら）やPTAのボランティアに見守り等の活動を行ってもらうなど、教職員や地域の方々で様々な知恵を出し合い、子供たちが安全と学習を両立させながら、学校生活を送れるよう、力を合わせて教育を進めています。六年生は、六月二十八日・二十九日に一・三組が、七月一日・二日に二・四組が伊豆高原への移動教室です。この実施に当たっては、感染症対策を徹底しつつ子供たちの移動教室を行えるようにガイドラインを作成し、実施踏査を行った大田区教育委員会の方々や、移動教室説明会等で多くの保護者の方が対策に当たって様々な御意見や質問をしてくださったことがその背景にあります。

教育目標

歴史を誇る久が原の大地に 深く根を下ろし桜のように明るく深く、樗のように天高く伸びてゆく  
久原小学校に学ぶ子は、

- 一、健康な子 二、考える子  
三、やさしい子 四、礼儀正しい子

子供たちは今、こうした様々なおとなの思いに触れながら日常生活を過ごしています。

また、入学から三か月がたち、高学年の力を借りながら少しずつ成長してきた一年生の子供たちがいます。また、きょうだい活動で年齢の違う子供たちが共に学び合ったり、教室で同学年の子供たちが切磋琢磨しあったりして成長しています。

そんな生活の中、例えば病気になってしまったり、けがをしてしまったり、様々な困難に見舞われた子がいたとき、周りの子供たちは、その子の痛みを想像し、心配をしています。そして、担任を含む教職員、その保護者も、多くの心労や不安を抱えながら子供たちを見守り、どうしてあげたらよいかを精一杯考えて、行動しています。

子供たちは、子供たち自身のやさしさや、おとなのやさしさ、自身が気付かない様々なやさしさに包まれて子供時代を過ごしています。

そのことが子供たち自身をやさしい子にと近付けていっているのだと信じながら過ごしていきたいと思っています。

暑さに加え、湿度の上昇や気圧の変化等で体調を崩しがちな時期になります。また、進学や入学からの緊張感からのよくない意味での慣れも生じてきています。楽しい夏休みに向けて、互いに健康や安全に留意しつつ、安心して過ごしていけるよう指導していきます。子供たちの朝の健康観察等の御協力について、今後どうぞよろしくお願いいたします。

Calendar table with columns for date, day, and event details.

※今月の避難訓練は予告なしで行います。

SCS：佐々木スクールカウンセラー来校 SCU：浦山スクールカウンセラー来校 ス：スポーツ開放

OP☆：校長室オープンデー(16～18時)

スクールカウンセラーより

火曜日勤務 佐々木匠  
金曜日勤務 浦山伸悟

久原小学校では二名のスクールカウンセラーが火曜日と金曜日にそれぞれ勤務しております。お子様のことで心配なこと、学校生活についての不安など、何か気になることがございましたら、ささいなことと思われず、どうぞお気軽にご相談ください。

新型コロナウイルスの感染拡大による休校が明け、元気に登校するお子様たちの姿が見られるようになりました。今年度は今までと違う始まり方であったため、お子様だけでなく、保護者の皆様についてもストレスを感じることが多かったかと思えます。今後も校内でのお子様たちの様子を見ながら、支援に努めていきたいと思えますが、保護者の皆様もお子様の様子で気になることや心配事などがあれば、ご相談いただければと思います。

【相談内容例】

- 学校生活や友人関係
- お子様の学習面
- お子様の性格面や行動面
- 不登校や登校渋り
- お子様の健康面
- 家庭での関わり方について

「こんなこと相談していいのだろうか？」と迷われた際などもお気軽に御連絡ください。また、学校外での相談を御希望されている場合など、必要に応じて専門機関の御紹介も行っております。

御相談については、担任の先生を通してお申込みいただくか、カウンセラーあてに直接ご連絡ください。カウンセラーの勤務日であれば、080・5977・6179（スクールカウンセラー直通）にお電話いただいても構いません。相談対応中でお電話に出られないこともございますので、その際は留守番電話にお子様のクラス、お名前をお伝えください。後ほど学校の電話からおかけ直しさせていただきます。

今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

サポートルームについて

巡回指導教員 友澤 由里

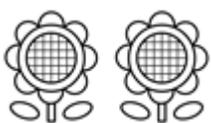
大田区すべての小学校に特別支援教室（サポートルーム）が設置されています。特別支援教室は、一人一人のニーズに応じた指導を行い、児童が抱えている困難を克服・改善し、安心して学校生活を送れるように支援する教室です。保護者の方や在籍学級の担任と相談し、個別の学習内容を考えて週二時間程度、指導を行います。久原小学校の巡回は、月曜日から金曜日です。

「どの子も皆、サポートルームに来て良かった！」と思えるような楽しく分かりやすい学習を目指して、職員一同力を合わせて取り組んでいきたいと考えています。

- ・ 友達と遊んだり、まわりの人とかかわったりすることがうまくできない
- ・ 状況にあった受け答えができていない
- ・ 一定のことがらや行動に対して強いこだわりが見られる
- ・ 落ち着きがなく、注意を持続することが苦手である
- ・ 周囲のことに気をとられて集中できない
- ・ 特定の教科や内容についての学習に困難がみられる
- ・ 場面によっては話さなくなってしまうことがある

などの児童を支援します。

お子さんの様子で気になることや困っていることがあります。もし、学校に御相談ください。年度の途中から利用することも可能です。なお、本年度からの利用、または令和三年度四月からの利用を御希望される場合の申し込みの締め切りは、令和二年十月十六日（金）です。すべての児童に個性があり、それぞれの悩みや課題をもつ中、みんなで成長していく仲間になっていけるよう努めてまいります。保護者の方の御理解・御協力をお願いいたします。



専科の窓

外国語 玉置 梨花

本年度より、三〜六年生の外国語の授業を、専科教員がALTとともに指導することになりました。一・二年生も年間八回程度、大田区外国語活動を行う予定です。学習指導要領では、外国語の目標として知識や技能とともに、「他者に配慮しながらコミュニケーションを図ろうとする態度」（学びに向かう力・人間性等）を掲げています。

外国人など、文化の異なる相手に何かを伝えるとき、そのまま伝えると思わぬ誤解を生じてしまうことがあります。相手の背景にある文化を知り、自分との違いを理解し、伝え方に配慮することが必要です。

この「違いを理解し、配慮する」という姿勢は、日常生活においても大切です。例えば、学級で生じるトラブルも、すれ違いや勘違いが原因であることが多くあります。家族ですら、相手の気持ちを完璧に理解することはできません。

外国語の学習を通して、子供たちは、コミュニケーションを行う相手や目的に応じて、情報を整理しながら考えを再構築していくことを学びます。「話し手」として相手に十分配慮して発信すること、「聞き手」として認め合う心を育て、これからの社会を切り拓く力の育成を目指していききたいと思えます。

身の回りの整理整頓をしよう

生活指導部 内田 夏実

学校では、多くのものを使います。机やロッカーの中、毎日背負ってくるランドセルに入れているもの、持ち帰るもの、そのどれもが日々の学習や活動に必要なものばかりです。また、今年度は、水筒、マスク、健康・観察カードなど健康に過ごすために必要なものもあります。個人のもものは、自分で管理しなければなりません。ところが、物をなくしたり見つけられなかったり、忘れたりということが多く見受けられます。整理整頓が足りないことが原因の一つです。

学校でも継続して指導していますが、御家庭でも整理整頓の声かけをお願いいたします。また、定期的に持ち物の再確認と記名をお願いいたします。

生活目標	身の回りの整理整頓をしよう。
給食目標	よくかんで、残さず食べよう。
保健目標	暑さに負けない工夫をしよう。
安全目標	左右をよく見て、道を渡ろう。